

## 2 学期終業式式辞

今日で2学期が終わります。そこで今学期の自分はどうだったのか、振り返ってみましょう。今、一番心に残っていることは何ですか？頭に思い浮かべてください。

2学期始業式に皆さんにお話しました。「2学期は期間も長く、チャレンジハイスクールの様々な体験学習とたくさんの学校行事があるので、一人一人が目標設定をして、それに向かって努力することで、誰もが主役になれるチャンスです」と。

とにかく勉強頑張った人／学校休まないように必死だった人／福祉体験や進路学習での学校見学・上級学校見学でモチベーション上がった人／体育祭・文化祭に一生懸命取り組んだ人／修学旅行で友達との3泊4日仲良く楽しめた人／進路、進路、進路で気が休まらなかったが試験を頑張った人／部活動の人数が少なくて練習しづらかったけれど、何とか試合で1勝できた人／生徒会活動やボランティア活動で頑張った人など、いろいろなことに一人一人が目標を持ってチャレンジしてくれたと思います。「我ながら、よく頑張った」と思える人が一人でも多くいるとうれしいです。そんな人は、自分で自分を褒めてください。

11月に群馬県の高等学校PTA連合会の研修会で講演会がありました。講師は、映画「極道の妻たち」の原作者の家田荘子さんでした。家田さんは作家であると同時に、出家して僧侶でもあります。毎年、徒歩で四国を巡礼するお遍路さんを16年間やっているそうです。白装束で徳島から高知、愛媛、香川と徒歩で1400km歩くそうです。そこで出会う人全てに挨拶をするそうですが、みんなが挨拶をしてくれる町とほとんど挨拶してくれない町があるそうです。歩いて回っているのも町の様子がよく見えるということです。挨拶をしてくれる町は明るくきれいで、挨拶をしてくれない町は暗くてゴミが散乱しているそうです。町によってははっきり分かれるという話がありました。

本校でも「みそあじ」運動おこなっていますが、心がけ次第で学校の雰囲気も変わると思います。皆さんは、榛高をどんな学校にしたいですか？自分たちの学校は自分たちで作る。これが基本です。2学期に「みそあじ」を心がけてくれた人、ありがとうございます。3学期もよろしくお願いします。

2学期の終業式に当たり、みなさんをお願いすることが二つあります。

一つ目は、ちょっとした間違いや気の緩みが大きな事故につながります。高校生として冬休みの過ごし方がどうあるべきかを考えて行動してください。18歳はもう大人です。生徒だからと大目に見てくれるのは中学生まででしょうか。

学校保健委員会でお話ししましたが、睡眠とスマホの利用についても自分でルールを決めましょう。便利なスマホも長時間使用は心身の健康に悪影響があります。冬休みでスマホを使い時間も増えると思いますが、スマホで時間を費やすことはもったいない。できることがたくさんあるはずです。

また、SNSを介して犯罪に巻き込まれる事例が増えています。使い方に注意し、自分も犯罪に巻き込まれる可能性があることを覚えておいてください。どうか自分の可能性を自分自身でつぶさないように気づいてください。

二つ目は、ちょっと深刻な話です。進路や人間関係、家庭環境等で悩んでいる人、困っている人はいますか。人は誰しも悩みを抱えていると思います。思い詰めたら誰かに相談してください。電話で話を聞いてくれるところもあります。親身に話を聞いて理解してくれる人は必ずいます。命を大事にしてください。自分は大丈夫と想着いても、突然何かをきっかけに不安になることもあると思います。絶対、死なないでください。

3学期の始業式も全員参加が基本です。元気な顔でお会いしましょう。では、みなさん、よいお年をお迎えください。